

若手医師ネットワークにおける取組み報告
(令和6年度～令和7年度)

1. 若手医師によるディスカッション開催の趣旨

若手医師の現場での課題や意見を共有し、医師会活動の充実および地域医療の持続可能性向上を目的として、令和6年度より「若手医師によるディスカッション」を継続開催している。

また、その関連の取組みとして、若手医師ネットワークを中心に、臨床研修医および医学生を対象としたアンケート調査を実施した。

2. 開催実績

【令和6年度】

回次	日 時	開催形式	主なテーマ
第1回	令和6年12月26日(木) 18:30～19:30	対面 山形国際ホテル	・ 医師会活動との関わり ・ 病診連携 ・ 働き方改革
第2回	令和7年2月5日(水) 18:30～19:00	Web	・ メンター制度 ・ ロコミ対策 ・ 入会状況

【令和7年度】

回次	日 時	開催形式	主なテーマ
第1回	令和7年5月28日(水) 18:30～19:30	Web	・ 患者トラブル ・ 病診・診診連携 ・ 診療で困りごと ・ 研修医入会状況
第2回	令和7年9月20日(土) 17:00～18:00	ハイブリッド 山形市医師会館	・ 看護師不足 ・ 働き方改革 ・ COVID-19対応 ・ 研修医入会状況
第3回	令和7年12月15日(月) 19:00～20:00	Web	・ 感染症動向 ・ 診療報酬改定 ・ 入会促進 ・ 今後の検討課題
第4回	令和8年3月3日(火) 19:00～20:00	Web	・ アンケート結果

3. 主な議論内容（要約）

- （１）医師会活動・入会促進
 - ・ 医師会活動が若手世代に十分伝わっていないとの認識
 - ・ 勤務医層（30～44 歳）の入会が課題
 - ・ 研修医段階での関与の重要性
 - ・ 入会後のフォローや関わり方の工夫の重要性
- （２）地域医療を取り巻く課題
 - ・ 病診連携、診診連携の課題
 - ・ 救急搬送体制の地域差
 - ・ 看護師不足による診療体制への影響
 - ・ 医師の高齢化および後継者不足
- （３）働き方・制度改定への対応
 - ・ 診療報酬改定による事務負担増加
 - ・ 書類業務の増大
 - ・ 医師の孤立やメンタル負担
 - ・ チーム全体での働き方改革の必要性

これらの議論を通じて、若手医師が直面する現場課題および医師会に期待される役割について意見交換を行った。

4. 若手医師ネットワークによるアンケート調査の実施

- （１）調査概要
 - ・ 対 象：臨床研修医および山形大学医学部医学生
 - ・ 方 法：Google フォーム（無記名）
 - ・ 期 間：令和 8 年 1 月 7 日～1 月 30 日
 - ・ 回答数：183 名（研修医：75 名 医学生：108 名）
 - ・ 回答率：21.8%（研修医：50.7% 医学生：15.6%）
- （２）主な結果
 - ①医師会に対する認識
 - 「地域医療を支えている」「医療政策と関わっている」という理解は一定程度ある一方で、
 - ・ 「何をしている組織かよく分からない」
 - ・ 「研修医・学生には縁がない」
 - との回答もあり、活動内容の可視化が課題であることが明らかになった。

②魅力を感じる活動

関心が高かった項目は、

- ・ 研修医・学生向け勉強会・セミナー
- ・ キャリア・進路相談
- ・ 専門医・指導医との交流

であり、若手世代は「自身の成長に直結する活動」に強い関心を示している。

③山形県での勤務意向

- ・ 「ぜひ働きたい」
- ・ 「条件が合えば働きたい」

を併せると約6割が前向きな意向を示しており、地域定着の可能性は十分にあることが確認された。

④山形県での勤務への不安

主な不安要素として、

- ・ 生活面
- ・ 専門研修機会の不足
- ・ 勤務環境・労働条件
- ・ キャリア形成の不透明さ

が挙げられた。

5. アンケートから明らかになった現状と課題

本アンケートの結果から、次の点が明らかとなった。

1. 医師会の存在意義は一定程度理解されているが、具体的活動や若手との接点は十分認識されていない。
 2. 若手世代は、学習機会やキャリア形成支援など「成長に結びつく関わり」を強く求めている。
 3. 山形県での勤務に対する前向きな意向は一定程度存在している。
 4. 一方で、研修環境や将来設計に対する不安が定着の阻害要因となり得る。
- これらから、若手医師との早期かつ継続的な関わりの重要性が改めて確認された。

6. 今後の方向性

これまでのディスカッションおよびアンケート結果を踏まえ、今後は次の点を意識しながら取組みを継続していくことが望ましい。

1. 医学生・研修医段階からの継続的接点づくり
2. キャリア形成支援に資する取組みの検討
3. 医師会活動の可視化および情報発信の充実
4. 若手医師との意見交換の継続

7. 総括

若手医師によるディスカッションおよびアンケート調査を通して、

- ・ 若手医師の関心領域
- ・ 地域定着に向けた課題
- ・ 医師会に求められる役割

がより具体的に整理された。

本取組みは、若手医師との対話を継続するための基盤づくりとして一定の成果があったと考えられる。

今後も本取組みを継続し、若手医師の意見を医師会活動の充実に活かしていくことが重要である。